

D I A M世界リートインデックスファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／不動産投信（インデックス型）

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界各国のリート（不動産投資信託）に投資し、S & P 先進国 R E I Tインデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年6月14日～2019年12月13日

第154期	決算日：2019年7月16日	
第155期	決算日：2019年8月13日	
第156期	決算日：2019年9月13日	
第157期	決算日：2019年10月15日	
第158期	決算日：2019年11月13日	
第159期	決算日：2019年12月13日	
第159期末 (2019年12月13日)	基準価額	3,313円
	純資産総額	210,268百万円
第154期～ 第159期	騰落率	4.2%
	分配金合計	300円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

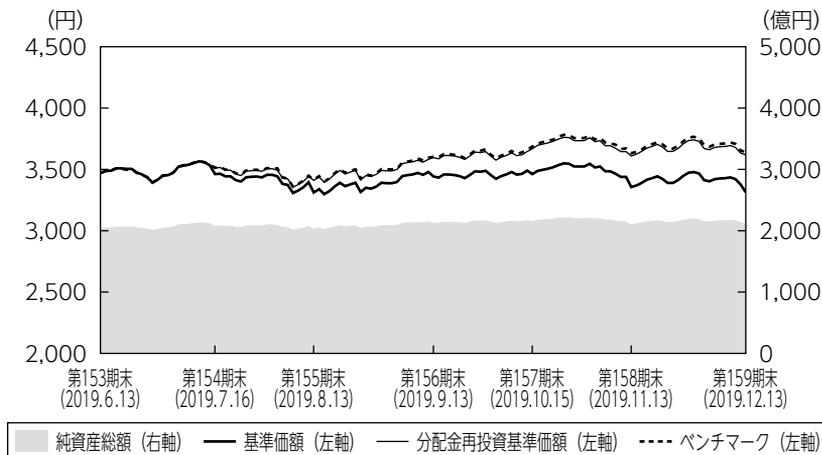
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第154期首： 3,471円
 第159期末： 3,313円
 (既払分配金300円)
 騰落率： 4.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（S & P 先進国 R E I T インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の＜当ファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。
- (注4) ベンチマークの算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

基準価額の主な変動要因

当ファンドで組入れている多くの通貨に対して円安となったうえ、大規模デモの影響が懸念された香港を除いた全てのリート市場の価格が上昇し、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第154期～第159期 (2019年6月14日 ～2019年12月13日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	16円	
(投信会社)	(6)	(0.187)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(8)	(0.230)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.043)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.003)	
(d) その他費用	0	0.008	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.008)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	16	0.474	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

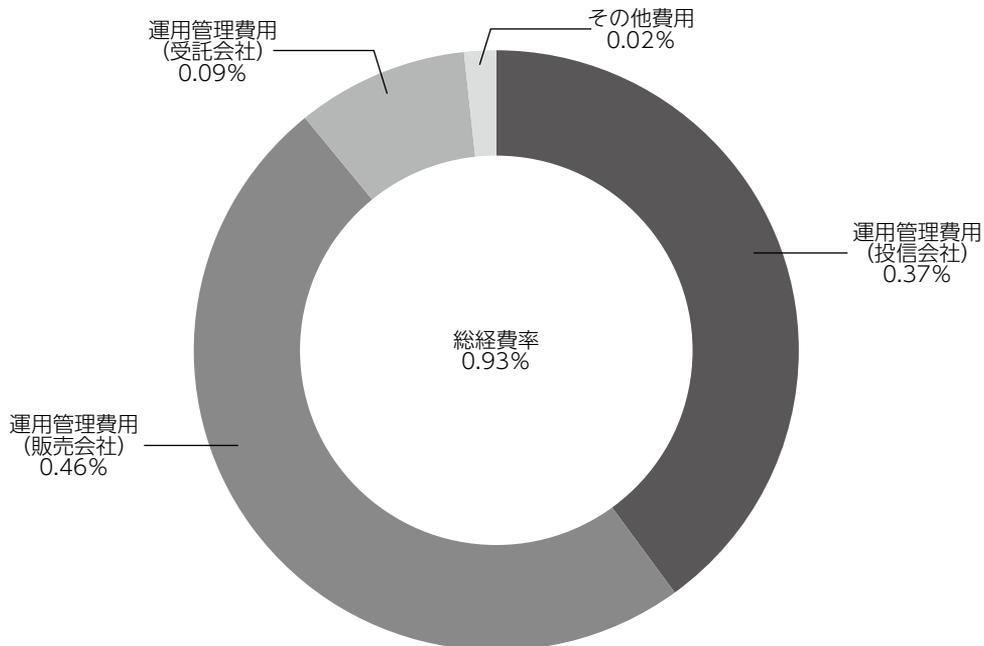
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.93%です。



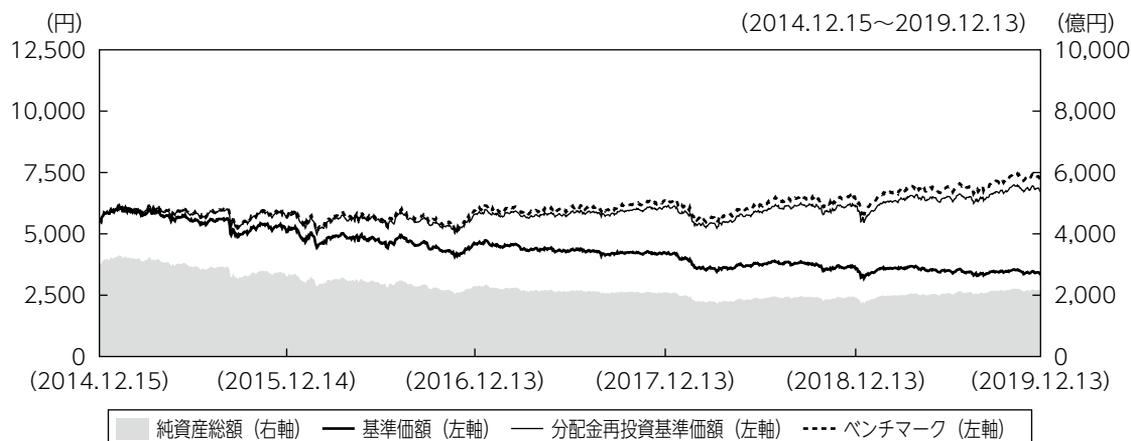
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（S & P 先進国 R E I T インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし））は、2014年12月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年12月15日 期首	2015年12月14日 決算日	2016年12月13日 決算日	2017年12月13日 決算日	2018年12月13日 決算日	2019年12月13日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	5,641	5,074	4,578	4,213	3,574	3,313
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	580	600	600	600	600
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△0.0	2.7	5.7	△0.3	10.2
ベンチマークの騰落率 (%)	—	1.2	4.1	7.0	1.2	11.7
純資産総額 (百万円)	306,634	260,183	228,267	208,458	190,731	210,268

投資環境

外国リート市場は上昇しました。米国リート市場は米中通商協議を巡る警戒感などから下落する場面もありましたが、米国の底堅い業績発表や長期金利の低下などを背景に堅調に推移しました。欧州リート市場も低金利環境の長期化期待や英国のEU（欧州連合）離脱問題の進展などを受け上昇しました。オーストラリアリート市場についても長期金利の低下やオーストラリア経済への期待などから前作成期末の水準を上回りました。

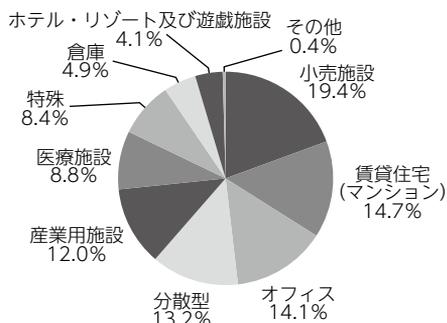
国内リート市場は上昇しました。米国をはじめとした流動性供給の拡大期待や、相対的な分配金利回りの高さが選好されたことなどから力強く上昇しました。11月上旬には米長期金利の上昇や国内債券需給の緩みを受けて国内長期金利が上昇したことが嫌気され下落しましたが、11月中旬には中国の経済指標の下ぶれなどをを受けて内外長期金利が低下に転じたことなどから反発しました。12月以降は長期金利上昇に対する警戒などから利益確定が活発化し、弱含む展開となりました。

為替市場では、米国の利下げ期待や米中貿易摩擦の激化を背景としたリスク回避姿勢の強まりなどから、8月にかけて米ドル安円高となりました。その後は米中对立の緩和期待や良好な米経済指標などを受け米ドルが反発する展開となり、前作成期末比で米ドル高円安となりました。ユーロはECB（欧州中央銀行）による金融緩和を示唆する発言などからユーロ安円高となりました。追加緩和余地が限られるとの見方などから反転したものの、ユーロ安円高で作成期末を迎えました。

ポートフォリオについて

ベンチマークの構成比率を基本配分比率とし、この割合に合致するように、各リーートの組入れを行いました。

○業種別配分



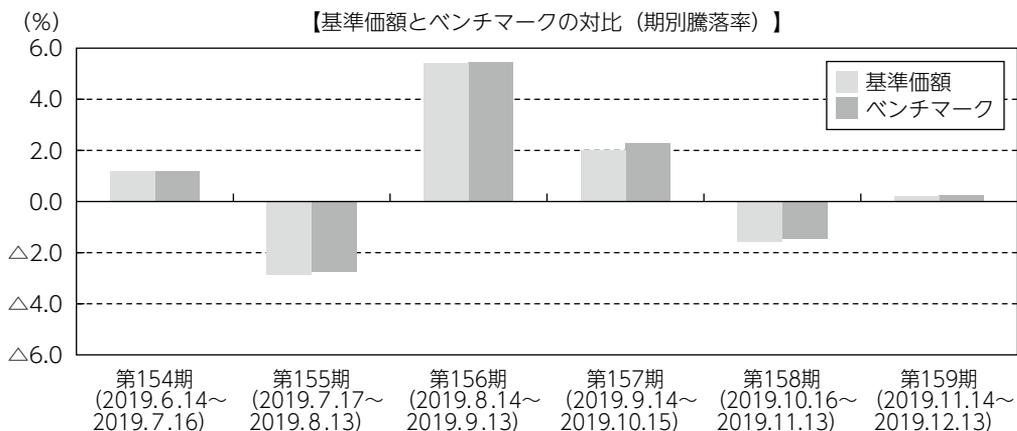
（注1）比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前作成期末比で4.9%上昇しました。

当ファンドの騰落率はベンチマーク比で $\Delta 0.7\%$ と、ファンドとベンチマークで評価に用いる為替レートが異なることや信託報酬の影響を除くと、ベンチマークに概ね連動したパフォーマンスとなりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第154期	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期
	2019年6月14日 ~2019年7月16日	2019年7月17日 ~2019年8月13日	2019年8月14日 ~2019年9月13日	2019年9月14日 ~2019年10月15日	2019年10月16日 ~2019年11月13日	2019年11月14日 ~2019年12月13日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	1.42%	1.49%	1.43%	1.42%	1.47%	1.49%
当期の収益	18円	2円	10円	12円	3円	5円
当期の収益以外	31円	47円	39円	37円	46円	44円
翌期繰越分配対象額	956円	909円	870円	833円	786円	742円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

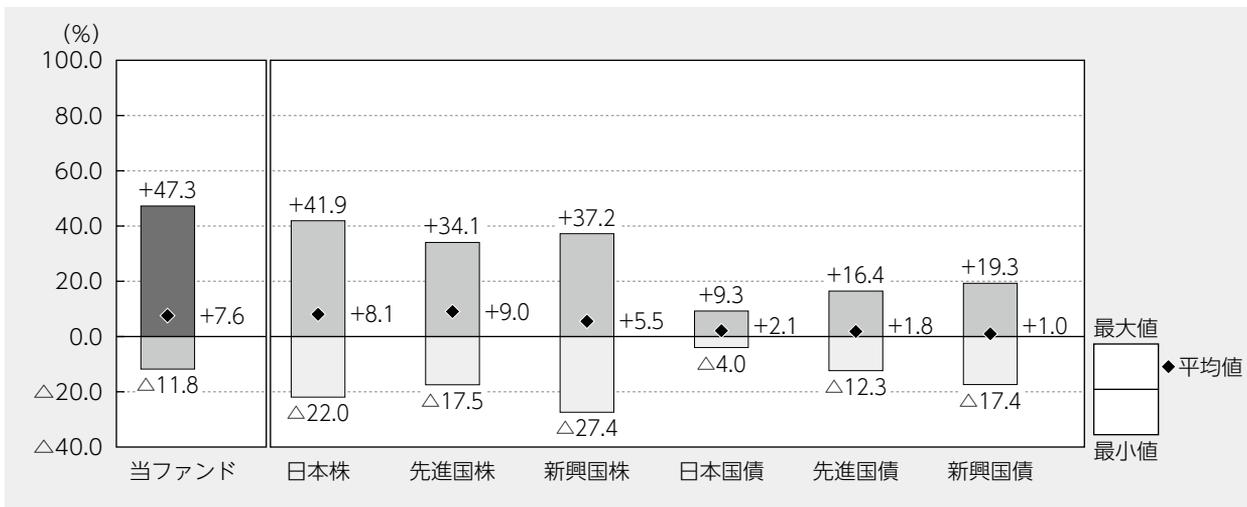
今後の運用方針

引き続き、日本を含む世界各国のリートに投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざします。また、原則としてリートの組入比率を高位に維持します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（インデックス型）
信託期間	2006年6月12日から無期限です。
運用方針	S & P 先進国 R E I T インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界各国のリート（不動産投資信託）*を主要投資対象とします。 *国内、海外の証券取引所に上場されている不動産投資信託証券とします。
運用方法	日本を含む世界各国のリートに投資し、S & P 先進国 R E I T インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。 不動産投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子・配当等収益（繰越分を含みます。）および売買益（評価益を含みます。）等の中から、経費控除後の利子・配当等収益（繰越分を含みます。）および売買益（評価益を含みます。）等の水準および基準価額水準、市況動向等を勘案し、原則として経費控除後の利子・配当等収益（繰越分を含みます。）等を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年12月～2019年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年12月13日現在)

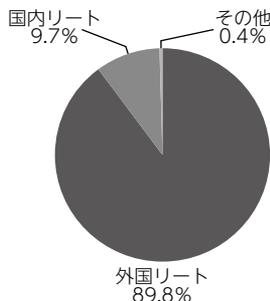
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	3.9%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	3.2
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.0
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	2.2
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	2.1
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	2.0
EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	2.0
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	1.6
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	1.6
LINK REIT	香港・ドル	1.5
組入銘柄数	366銘柄	

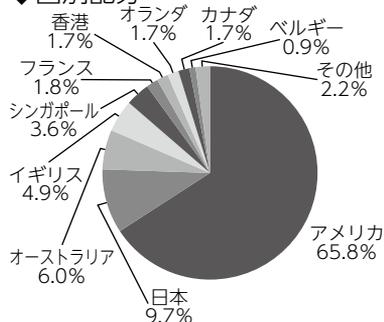
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

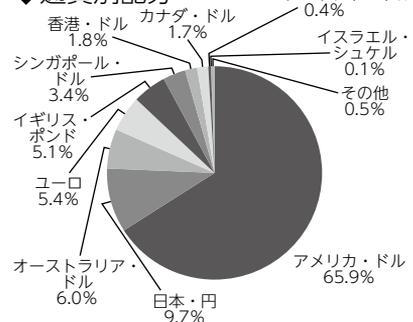
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注4) 国別配分、通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

純資産等

項目	第154期末	第155期末	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末
	2019年7月16日	2019年8月13日	2019年9月13日	2019年10月15日	2019年11月13日	2019年12月13日
純資産総額	207,983,488,290円	202,839,833,450円	212,930,484,916円	215,680,647,038円	210,260,080,336円	210,268,534,274円
受益権総口数	600,776,290,645口	612,490,363,089口	618,586,421,513口	623,105,274,650口	626,578,194,644口	634,594,708,190口
1万口当たり基準価額	3,462円	3,312円	3,442円	3,461円	3,356円	3,313円

(注) 当作成期間(第154期~第159期)中における追加設定元本額は69,286,740,833円、同解約元本額は20,198,116,261円です。

<当ファンドのベンチマークについて>

● S & P 先進国 R E I Tインデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）

S & P 先進国 R E I Tインデックスは、S&P Globalの一部門であるS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスL L Cまたはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's® およびS & P®は、S&P Globalの一部門であるスタンダード&プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズL L C（「S & P」）の登録商標で、Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズL L C（「Dow Jones」）の登録商標です。本商品は、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 先進国 R E I Tインデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（T O P I X）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c . が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I I n c . に帰属します。また、M S C I I n c . は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c . が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I I n c . に帰属します。また、M S C I I n c . は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「N O M U R A - B P I 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「F T S E 世界国債インデックス（除く日本）」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L Cにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はF T S E F i x e d I n c o m e L L Cの知的財産であり、指数に関するすべての権利はF T S E F i x e d I n c o m e L L Cが有しています。
- 「J P モルガンG B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。